

中丸小学校区 村政懇談会

日 時：平成21年7月3日（金） 午後7時～9時

場 所：中丸コミュニティセンター 会議室

参加者：村執行部（村長，副村長，教育長，総務部長，企画政策部長，福祉部長，
経済環境部長，建設水道部長，消防長，教育次長，議会事務局長）

事務局（自治推進課長，課長補佐，自治推進課職員4名） 計17名

自治会長（押延区，須和間区，緑ヶ丘区，南台区，舟石川中丸区，
原子力機構長堀1区，原子力機構長堀2区，70-1/2須和間区）

参加者：押延区…14名，須和間区…11名，緑ヶ丘区…17名，
南台区…4名，舟石川中丸区…9名，原子力機構長堀1区…1名，
原子力機構長堀2区…1名，70-1/2須和間区…6名，
その他…25名， 計88名

司会進行：押延区自治会長

1. 開会
2. 学区内自治会長代表あいさつ（舟石川中丸区自治会長）
3. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）
4. 村長あいさつ及び「平成21年度村政に関する説明」
5. 「東海村が目指す学区自治会の方向性」について（緑ヶ丘区自治会長）
6. 事前質問に対する回答
7. 懇談

○緑ヶ丘区住民

私が自治会長の時の懸案事項が残っているので、質問したいと思います。緑ヶ丘団地の上の方に工専地域がございます。その工専地の部原地区について去年の6月20日に第1回の会合をやりまして、当時の建設水道部長は、11月中に結論を出すと自治会連合会で大見栄を切ったが達成せず、今年の1月30日に督促をし、やっと第2回目の会議を開いたが、中身は、全然進展がありませんでした。それで、私は3月に自治会長を辞めるとき、村長に憎まれ口を利きました。要するに、建設水道部の方では、検討するような顔をして、実際にはものを進めていない。時間がたてば、住民はあきらめるだろうと。そういう方法で、過去40年間あきらめてきたわけです。ところが、みなさん御承知のようにその地域に産廃処理工場ができるわけです。それも立派な設備であれば、できてもおかしくないが、設備そのものが非常に古くて、私のような技術屋からみるといんちきな設備です。そういうものができると南台とか、須和間とか、川根とか、みんな、フローレスタは遠いから関係ないと思っているかもしれませんが、大気汚染の問題が出てくるわけです。したがって、その部原地区については、工専地の変更ができないのであれば、緑地帯を設けるとか、工専地内にそういう危険な産業は導入しないような条例を作るということをたびたびお願いしてまいりました。工専地は、県のほうで調べたら東海村が引いた線であって県は認可しただけである。したがって、そこで問題が起きれば東海村で検討しなさい。そういう言い方

中丸小学校区 村政懇談会

でした。東海村は、一回線を引いてしまっ、その中に入っている須和間の方とか川根の方とか農地を持っておられる方に税金を納めてもらっている関係で、工専地の変更はできないと言ってます。ならば、そこに危険な産業が入らないように条例だけでも作ってくださいとお願いに行ったら、条例は法律の関係でできません。結局、住民は泣き寝入りをしなさいということです。そういうことは知らずに、私達はあそこの土地を買って家を建てたわけです。したがって、少なくともそういう危険な産業が入らないように、そこを村が買い上げて緑地帯を作るという計画が一回発表されました。しかし、そのあと何も進展しておりません。それで、今度部長が変わったので、引継がなかったと言われればそれで終わりになって、また40年間続くわけです。ところが、先ほどの村長の話では、困ったときは、すぐ頼みに来なさい。ところが、何度頼んでもやってくれない。こういういろんな矛盾があるので、部原地区は、どうなっているのか新しい部長さん回答してください。

○建設水道部長

私も当時、都市政策課で課長をしていたので、今のお話を十分承知しております。引継いでないというか、むしろこれは、継続してやっていかなければなりません。ここで頓挫させるとか、やらないということは、私個人としてもそうですが、建設水道部としてもそういうことはあってはならないものです。先ほどの住民との協働活動ではありませんが、そういった活動は継続することに意義がありますので、東海村もあの地区に対しては40年間なにもしてこなかったということで、いろいろ御意見いただきました。そのことを真摯に受け止め40年間のことを今日明日には、どうにもならないと思っていますので、できることから一つずつ解決していきたいと思っています。要は後に残さないようなことで考えていかななくてはならないと思っています。なおかつ、緑地帯の御提案もありました。これについても内部で協議しておりますので、協議を進めるにあたって40年間という時間的なこともありますので、欠席の地権者の方への説明に時間がかかったということも正直な話ありました。速度が遅いという指摘に関しては、全面的に否定はいたしません、私としては、なるべく早くやるよう話しており、今まさに動いているので、もう少しお待ちいただきたいと思います。今、人選をしておりますので、人選が出来次第、地域の方にも情報提供しながら、進め方を内部で検討したうえで地域の方、地権者の方にもお話していきたいと思っています。

○緑ヶ丘区住民

去年の6月20日から今日まで380日ありました。その間に6月20日に参加されなかった地権者に対して1軒1軒回って話をして了解を取りますと話をされました。11月末にできるはずが今年の1月30日でもまだ完了していません。要するに回りきっていないわけです。2ヶ月や3ヶ月の話ではない。380日です。30日で割ってください。僕からみれば、何もやっていない全然進んでいない。大体、行政マンの仕事はのろいと昔から決まっているけれど、それにしてものろすぎます。真面目にやってないということでしょう。だから、いつまでにやるのか期限をはっきり言

中丸小学校区 村政懇談会

ってください。そういうことを言えなかったら、部長の資格はないと思います。工場だったらクビです。行政マンだからのりくらりとやられているわけです。いつまでにやっていただけますか。

○建設水道部長

地域のみなさん、地権者のみなさんもおりますので、協議しながら進めて行き問題点に対しての方向性を出していきたいと思っていますので、いつまでという限定は、今日のところ明言はできません。継続してやっていくという姿勢は変わりませんので、少なくとも私がいるときに方向性を出したいと思っています。

○村長

(説明会は) いつやるかぐらいは言ってください。

○建設水道部長

人選しておりまして、議会からもだいぶ御質問いただいております。7月中には協議会を開催したいと考えています。

○緑ヶ丘区住民

私は非常に責任感の強い男ですから、自治会長のとときに解決できなかった問題が3つあって、その1つです。やっていただかないと次の自治会長が困ります。僕と違って新しい自治会長は紳士だから何も言わないかもしれません。そうするとどんどん延びて、ここにいる方は迷惑をする。だから、私は自治会長だった立場で御意見申し上げているので、計画を立ててやっていただかないと、いつも同じ答えです。

みなさんよく覚えておいてください、去年の6月20日も前の部長が同じ答えをしました。

○緑ヶ丘区住民

地区委員会や自治会の役員をやっている関係で、たびたび役場にお願いや相談に伺っています。村上村長も申されましたように、村民本位で対応して下さっていますので、非常に助かる面がございます。東海村がこの辺の市町村と違って、ここ10年近くの間に人口が増えているというのも住みやすいという評判があったのだろうと思いますし、先ほどの村長の話からもありましたように資源物の分別が、全国で2つの優良地区に入っているということで嬉しい限りであります。しかしながら、5月末ころ新聞に載っていたのですが、受動喫煙を防止するために各市町村、県庁もそうですが、そういった庁舎には分煙化をしなければならないという規律があるそうです。東海村は、いつやるのか話しをしたときに、ある人が東海村は村長がタバコ好きだからなかなかそうはならないという人がいました。その当時は、あと100日も過ぎれば村長も変わるのかな、それまでには分煙化の道筋が立つのかなという話もあったのですが、あと4年も伸びるかもしれないという状況ですから、分煙化のスケジュールがありましたら担当の部長からお話いただきたい。

○総務部長

庁内の分煙化は既に実施しております。

中丸小学校区 村政懇談会

○緑ヶ丘区住民

新聞によりますと、県では10ちょっとは分煙化していない庁舎があるということで、ワースト10に入っているということでした。5月30日か29日ごろの茨城新聞です。その後を開始されていけば、私の質問は間違いです。

○総務部長

仕切りを設け、分煙化を庁舎内はやっております。

○緑ヶ丘区住民

茨城新聞の間違いですね。バックナンバーを調べてクレームをつけておきます。失礼しました。

○緑ヶ丘区住民

21年度の重点施策にもありますが、雨水の排水対策について質問させていただきます。ご存知のように、先日は九州で集中豪雨がありまして、これは全国何処におきるかわからないような状態になってきています。問題は、40年前に施工された道路の下の配水管がこの中丸地区にもかなりあります。たとえば、中丸小学校前の排水路で中丸小から南台に行く道路の下の排水管、勝木田団地の下の排水管、押延の堤防下の排水管、それから緑ヶ丘の南と北の地下の排水管これらは、どの程度の降雨量を想定して作られているのか。というのは、排水ができないと泥沼化、あるいは上流のほうで水がたまって、最悪の場合は家屋や農作物の浸水被害が起こる可能性があります。前にお聞きしたことがあるのですが、フローレスタの調整池の雨量は1時間に当時、今から10年前ですけど、10年間の最大総雨量で30数ミリだった。今は、その倍とか3倍とか雨が降りますので、今言った所の地下の排水管はどの程度の想定雨量を考えて設置されているのか。住民の方もいっぱい雨が降ると掃除とかメンテナンスとか気をつけなければならない場合がありますので、想定雨量をどのくらいに考えているのかお聞きしたい。

○建設水道部長

勝木田地区、中丸小下、駆上線を横断している排水路の断面という話ですが、手元に資料がございません。正確な排水量という話になれば、その断面で吸収できる量は改めて計算しなければならないと思いますので、計算ができれば、できた時点でお答えさせていただきたい。雨水の話が出ましたが、今年予算を取っていますけれども、雨水対策をしなくてはいけない所は、真崎地区で1箇所、百塚地区に1箇所ございます。これは雨が降るたびに冠水してしまいます。田んぼ、畑ではなく、住宅地がありますので、その住宅地の部分を対応するという事で予算化しています。それからもう1つの流域ですが、最終的には中央排水路、中央地区と絆の下を通っていきますので中央地区の雨水排水とそこに流れてくる流域の水を計算して調整機能を持った調整池等を整備しなくてはならないと考えていますので、これから検討に入るところであります。

○緑ヶ丘区住民

下水道に関して伺います。緑ヶ丘団地は6、7年前に下水道工事が完了したと記憶

中丸小学校区 村政懇談会

しています。本管は完了しても本管に繋ぐのは各自に任せていると思います。我々のところは、集合住宅であるために 100%繋がって初めて快適な生活ができると思いますが、なかなか 100%にはなっていない。先ほど下水道の計画の話がありましたが、せっかくやっても接続しなければ意味を成さないということなので、任意接続の問題に対して村としての考え、あるいはフォローの仕方をどう考えているのか伺いたい。

○建設水道部長

ご質問の中で確認したいのですが、集合住宅とはアパートとかですか。

○緑ヶ丘区住民

団地です。緑ヶ丘団地です。

○建設水道部長

分かりました。基本的に下水道事業は、村では、本管を敷設します。各宅地から接続する部分は、原則として各地権者の方、その住宅の持ち主にやっていただく形になっております。受け入れのための柵は村で作ります。

○緑ヶ丘区住民

それは承知してますが、せっかく本管ができて各自にお任せのままで何もフォローしなければ、せっかくの本管ができ、下水道が完備されても全体としては、衛生上快適な生活ができるという格好にはならないと思うので質問した。

○建設水道部長

例えば、住宅が 100 軒あって 50 軒くらいしか繋いでいない。残りの部分について何かフォローしてくれということでしょうか。

○緑ヶ丘区住民

軒数に関しては、あまり言いたくありません。

○建設水道部長

ぜひ地域の中で話題にしてもらって、説明とか出前講座もあるのでいつでも行きます。

○村長

本管を設置したら各自 3 年以内に接続と村では言ってなかったでしょうか。そういう決まりがあるので、こちらとしても繋いでもらわないと採算が合いません。

○建設水道部長

今のご質問でやはり地域で協力いただかないと村で本管を入れても快適な生活となりませんので、例えば 50 軒のうち 20 軒しか接続していないという話であれば、ぜひ地域自治会等で話し合っていたいただきたいと思います。

○村長

みなさんの要求に応じて本管を引いています。田舎に住んでいても引いています。田舎は屋敷の面積が大きいのでお金はかかる。本管を引いたら各家庭から 3 年以内に引いてくださいというのが基本です。当然こちらは、みなさんの要求に応じて引いた訳ですから、つなぐのがその地域の住民の義務でもある気がします。そうじゃないと

中丸小学校区 村政懇談会

下水道事業の採算が合わない。田舎でもやっているわけですから、まして都市部の団地ならやってもらいたいと思います。よろしくお願いします。

○南台区住民

私どもは、南台を中心に防犯パトロールや中丸小の児童の見守りなどを行っているボランティア活動の一員です。検討してもらいたい課題は、先ほども水路の問題が出ましたが、中丸小学校の生徒の通学路、小学校下の水路は雨が降ると氾濫してしまい、子供達が学校の行き帰り通行止めになってしまう。その時に、学校側としては、中丸小の裏門から水路のあるところを通して南台やフローresta須和間、緑ヶ丘の方に子供さんが通学している状態です。中丸小の裏門から大きな道路に出るまでのたいした距離ではないんですが、歩道もなく大雨が降ると子供達が車の通りに対して危険な箇所が、役場でもご存知かと思いますが、一部あるんです。これからの未来の子供たちのために整備のほうでできましたら検討願いたい。

○建設水道部長

今のお話の場所は、まさにクランクになって狭くなっていることを認識しています。先日、その先のT字路、南台から来る坂道も車がスピードを出しすぎるとい話がございまして、手を打ったところです。クランクのところをどうするか部内でも話しをしていますが、用地がないということで、教育委員会の用地もあるのでそちらと調整して、お金がかかることになるとは思いますが、かなり段差がありますので、よう壁を組んで東海高校のほうへ行くか、あるいは東海高校の敷地をけずるか、中丸小学校の用地の方に入っていきかありますが、貴重なご意見として受けて検討していきたいと思ひます。

○緑ヶ丘区住民

副村長に要望も含め所見をお聞かせいただきたいと思います。土地利用の関係ですが、場所は消防署と中央公民館の間の文教地区の真ん中であります。そこの整備を何とかもう少し見やすい環境にできないものか。地主さんが東海村の村民ではなく、東京のある企業のようなので、非常に難しい状況は十分承知しておりますが、長年雑草が生い茂り、環境上非常に好ましくない状況だと感じております。交渉をしていただきながら、環境対策、通学路対策をやっていただければと要望しておきます。何か御所見があれば、副村長のほうからお願いいたします。

○副村長

ご質問いただきました土地につきましては、状況は十分把握しております。今年度、生涯学習センターについて検討委員会を設置して中央公民館の建替えを含めた生涯学習センターを検討するわけですが、そのとき場所を何処にするかという議論も行います。今の中央公民館の場所がいいのか、移したほうがいいのか、あの土地に建物を建てるのか駐車場にするのかも含めまして利用度は非常に高いと認識しておりますので、今、ここで取得するとはなかなか言いづらいところもございまして、取得も十分視野に入れ一体的な整備をする必要があると認識しておりますし、そういう方向で進めていくことになろうかと思ひます。

中丸小学校区 村政懇談会

○押延区住民

福祉関係の広報について御要望申し上げたい。村長の村政の理念の中で東海村を県下一の福祉の自治体にしたいということがございますが、すでに東海村は県下一の福祉の村といっても過言ではないと感じております。がん予防の総合検診は無料、これは他の自治体に比べて珍しいのではないのでしょうか、仕事前に検査が終わるよう早朝から始めておられる。これのおかげで私の妻が命拾いしました。ありがたいことです。東海村に住んでいることを幸せだと感謝しております。今、介護の問題が大きな社会問題になっています。みなさん今、御壮健ですけれども必ず行く道です。私は、東海村の社会福祉のおかげで91歳ながらこうしてしゃきしゃきしていますが、絆ができる前には病気一歩手前でした。絆に介護予防に非常に有効な施設と施策がいくつもあります。筋力トレーニング教室、水中体操教室、脳骨筋体操教室、そのほかいろいろありますが、それぞれに有効かと思いますが、私は水中体操で健康を取り戻しました。前に村長のご指示で絆ができる前と後の私個人の医療費の変化のリストを添えた水中体操のすすめという作文を全村回覧していただいたとおり、水中体操で健康を取り戻したと思います。実際に利用した人は、異口同音すばらしいものだとほめているはずです。脳骨筋教室もそうです。インストラクターが2人おりますが、その人たちが介護予防の目的意識を持って使命感に燃えて情熱的に指導に当たっている。これは、感激で、しかもまじめ一方ではなく、みんな笑いながら、大笑いしながら体操をしています。笑いが健康に有効だということも承知の上でやっています。そういう優れた施設があり、施策があるにもかかわらず、今でもがん検診を受けないまま、早期がんで見つければ、部位によっては、100%ではないですけれども、例えば胃がんだと100%近く治るわけです。私の家内もそうでしたが、そういったことを知らないまま、検診で何かあると怖いからと、いわれのない不安とか、忙しいのに時間を待たされるのがいやだとか、まさかがんなんて、ということで受けない人が数多くいます。そういったことに対する啓蒙が足りないと思います。介護予防のための施策、施設があるけれど、広報とうかいに載るスペースが1ページのわずか1/6です。私が申し上げたいのは水中体操教室、筋力教室、脳骨筋教室の目的・効果等をみなさんに良くわかるように知らせてくださいということを所管の窓口へ何回か申し上げました。そのときは、窓口ではそのとおりですねと返事がありますが、毎号広報とうかいを見ておりますが何の変化もありません。宝の持ち腐れにしないでみなさんに知らせてください。

○福祉部長

たくさんお褒めの言葉もいただきました。今のご指摘、開催時の時間とか申し込みそういうお知らせしかしていないのは事実です。いまのお話を聞いて私もなるほどと感じました。今後、目的・効果等工夫した紙面でお知らせしてまいりたいと思います。私がしっかり指示しますので御了解をいただきたいと思います。

○緑ヶ丘区住民

経済環境部長にお聞きします。茨城県では、エコ農業茨城というのを去年から5カ年計画でやっていますが東海村としてはどういう状況にあるか教えてください。

中丸小学校区 村政懇談会

○経済環境部長

御指名をいただいておりますが、今日、エコ農業茨城についてお答えできる情報を持っていません。申し訳ありません。

○緑ヶ丘区住民

村長から話があったようにいろんな設備が稼動し始めております。茨城県では、茨城エコ農産物認証制度がございます。おそらく東海村には認証されたものが何もないと想像しています。ファーマーズマーケットに行っても認証ラベルが貼った商品が並んでいない。だから、おそらくやっていないと思います。エコファーマーの指定というのがございますけれども、東海村にはエコファーマーとしての認定者がいるのかどうか非常に心配だと思っています。私は、個人的には東海村は原子力と農業しかないと考えています。ですから工業や商業や観光は、一部で騒いでいるが、それは付けたしであって実際にはそれで飯は食えない。だから、原子力と農業だと思っているので、農業は県で進めているものは各自治体に全部こういう制度を作りなさいというものが出ているはずですから、東海村は特に農業に関しては後手に回っている気がしてならないのでよろしくお願ひします。

○経済環境部長

御承知のとおりファーマーズマーケット 6月5日から事業が始まっております。東海村の農業を活性化するために始まったと受け取ってもらってよろしいと思ひます。村では、エコ農業はまだ認定していないと思ひますが、他の農業の認定者と補助いろんな形での対応を図っていきこうと力を入れているところであります。県下でも初めてJAの直売所の中に行政の職員が入ってみなさんの農業の支援をするという形で支援センターができております。県からきている職員がセンター長をやっております。支援センターに来ていただくのもお待ちしておりますが、みなさんの地区に出向いていろんなお話をすることも考えておりますのでぜひ名前と顔を覚えていただきたいと思ひます。

○地域農業支援室長

経済環境部長から紹介をいただきましたが、東海村の地域農業の振興ということで、今年は地域農業元年という旗印の下に仕事を進めております。先ほど御質問がありましたエコ農業茨城の取組みですが、先ほどご指摘のありましたとおり東海村では残念ながらエコ農業茨城に認証されているものはございません。こちらに来て非常に思ったのは、エコ農業に近い農業形態をなさっている方が非常に多いです。ある意味では、私どものほうでそういうPRに非常に不十分だったことがございます。ですから、ただいま経済環境部長から話がございましたように私のほうでファーマーズマーケットの奥のほうに隠れているのではなくて、みなさんのほうにどんどん出向いて、こういう農業であればエコ農業茨城認証制度に当てはまるのではないかとということも積極的に働きかけていきたいと思ひます。私、ファーマーズマーケットのほうに土曜も日曜も居りますので農業に関すること農地の貸し借りに関することいろんなことを相談承っております。県の普及センターのOBも配置しておりますので専門的な御相

中丸小学校区 村政懇談会

談にも答えられます。土曜日曜もやってございます。ぜひ、御利用いただきたいと思います。この場を借りてPRさせていただきました。よろしくお願いいたします。

○中丸地区委員長

私達は、中丸区で6つの部会でみんなが活躍しております。これは代表で、中丸地区社協で活躍している写真は各家庭に配布しております。ぜひ、こういう部会に首を突っ込んでいただいて隣近所の人と仲良くやっていただきたい。この場を借りてお願いします。8月29日は、わいわい祭りを計画しています。毎年やっており今年で4回目です。ぜひ隣近所のお子さん、自分のお子さん、お孫さんみんな楽しみにしているお祭りなのでぜひ参加していただくようお願いします。場所はここです。駐車場も十分ありますので安心してきてください。農作物も販売するそうです。

8. 閉会